4F学内
芸祭
1957

東京芸術大学 1957

芸術祭

東京藝術大學

STEINWAY

武蔵野音楽大学	共立講堂
日本テレビ	読売会館
ラジオ東京TV	山梨県民会館
東京芸大音楽学部	九段会館
NHK熊本中央局	

何れも　スタインウエイ　フルコンサートを納入

BÖSENDORFER

ベーゼンドルファ　は、グランドのみを製作
月産12台以上は製作いたしません。
最近納入のラジオ九州東京スタジオのフル・
コンサートは91鍵 黒色 9呎でございます。

独乙製最高級レコ　ダ
（BLOCKFLOTEN）
ソプラノ　¥ 1,800　　アルト　¥ 3,800
テナー　¥ 4,800　　バス　¥18,000

世界最高級
紘楽器　W WILFER社　セロ　バス
管楽器　ストラッサー　マリゴー　ルイロ
　　アレキサンダー社　モーレンハウエル社
打楽器　WFL社　アジャックス(BH社)
ハープ　ライオン　ヒーリー社
チェレスタ　ムステル社
電気楽器　ワルカー社（パイプオルガン）
　　マルテイノ　コムプトン(電子電気オルガン)

ディアパソン・シヴェスター
ベルトン　等国産一流品

STEINWAY他外国優秀USED
中古　20万—88万　取扱っております

輸入楽譜・LPレコード

日本総代理店 並 輸入元　株式会社 松尾楽器商会

東京都新宿区舟町9番地　電 35-0867　34-1840・3887

第四回芸術祭

1957·10·31 −11·3

STEINWAY

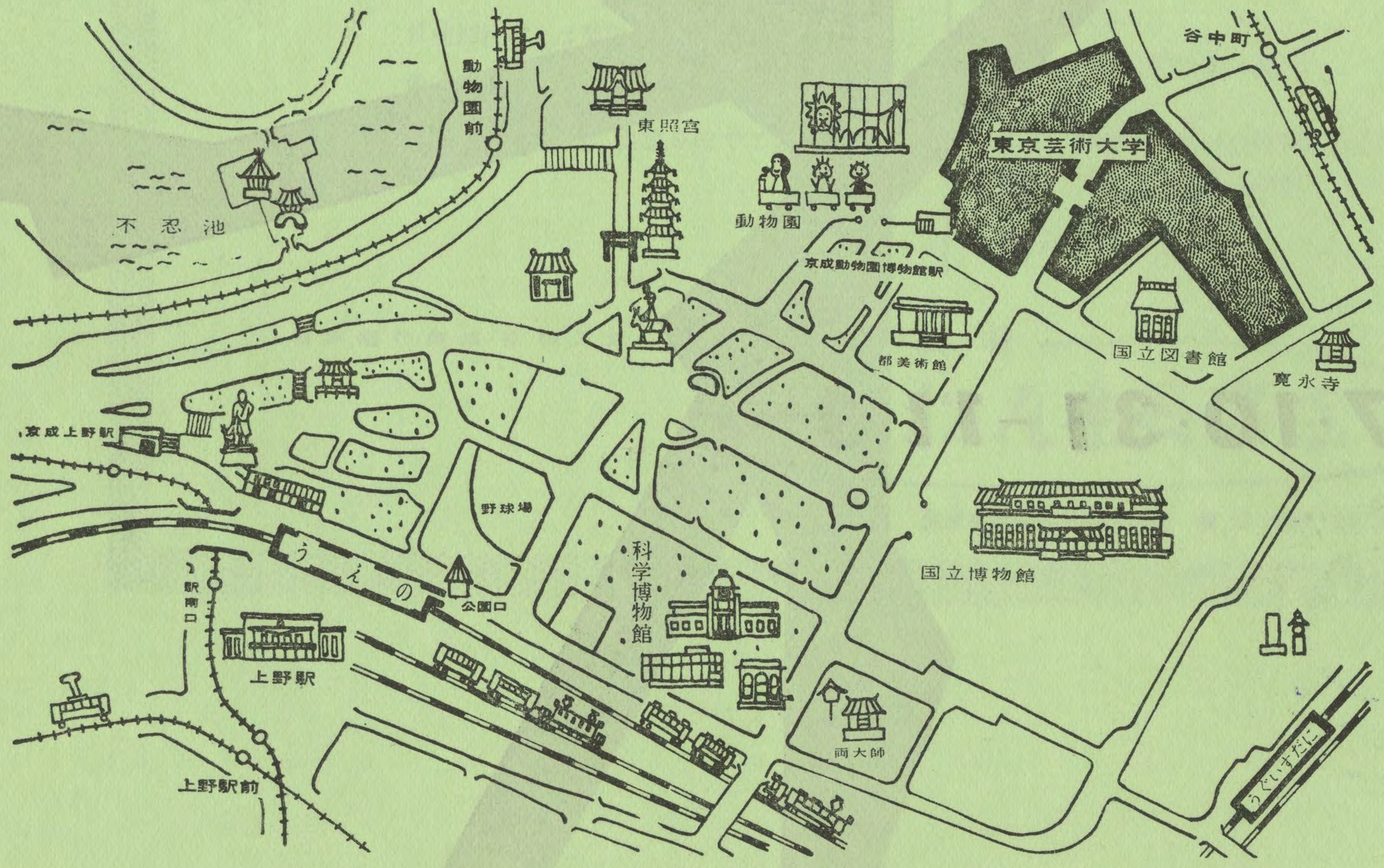
武蔵野音楽大学　共立講堂
日本テレビ　読売会館
ラジオ東京ＴＶ　山梨県民会館
東京芸大音楽学部　九段会館
ＮＨＫ熊本中央局

何れも　スタインウエイ　フルコンサートを納入

BÖSENDORFER

独乙製最高級レコ　ダ
（BLOCKFLOTEN）
ソプラノ　￥1,800　アルト　￥3,800
テナー　￥4,800　バス　￥18,000

世界最高級
絃楽器　W WILFER社　セロ　バス
管楽器　ストラッサー　マリゴー　ルイロー
　アレキサンダー社　モーレンハウエル社
打楽器　WFL社　アジャックス（BH社）
ハープ　ライオン　ヒーリー社
チェレスタ　ムステル社
電気楽器　ワルカー社（パイプオルガン）
　マルテイノ　コムプトン（電子電気オルガン）



国電
上野駅（公園口）より10分
鶯谷駅より10分

都電
〝上野駅前〟〝駅南口〟より13分
〝動物園前〟より８分

地下鉄
上野駅より13分

トロリーバス
〝谷中町〟より３分

京成電車
動物園・博物館駅より２分

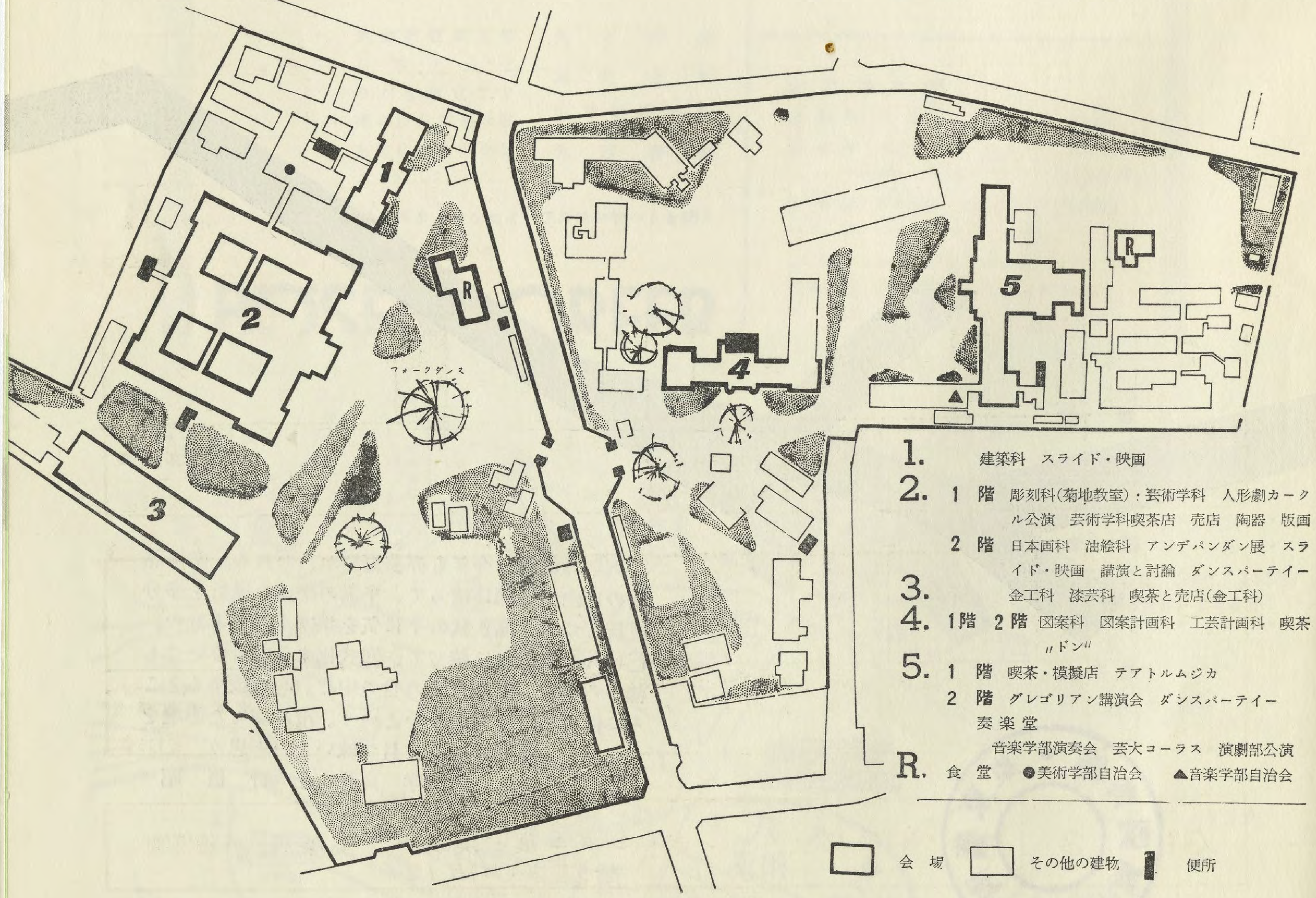
第四回芸術祭

例年の如く、今年も亦芸術祭が行われる。学生諸君の自由な構想に依って、平素の平坦な進行を多分脱線しつつ、高き秋の下に気を挙げんとするもの。已に久しき伝統に依って、形式化する虞もないでも無かろうが、日進月歩の世の中だ。心の欲するところに従って矩を越えないという。澄み切った心境をもって、人生を楽しく、且つ味いたいと思う

学長　上野直昭

東京藝術大学附属図書館
東京芸術大学 和漢書 第　号 冊ノ 図書館之図書
377.9
G
4

東京芸術大学略図



1. 建築科　スライド・映画
2. 1 階　彫刻科(菊地教室)・芸術学科　人形劇カークル公演　芸術学科喫茶店　売店　陶器　版画
   2 階　日本画科　油絵科　アンデパンダン展　スライド・映画　講演と討論　ダンスパーテイー
3. 金工科　漆芸科　喫茶と売店(金工科)
4. 1階　2 階　図案科　図案計画科　工芸計画科　喫茶 〃ドン〃
5. 1 階　喫茶・模擬店　テアトルムジカ
   2 階　グレゴリアン講演会　ダシスパーテイー
   奏楽堂
   音楽学部演奏会　芸大コーラス　演劇部公演

R. 食堂　●美術学部自治会　▲音楽学部自治会

会場　その他の建物　便所

芸術祭日程

31日

会場	時間	内容
奏楽堂	am10–12	学響総練習(学内学生のための)
奏楽堂	pm1–2	室内演奏会
奏楽堂	2–4	作品発表
奏楽堂	4–5	コーラス
奏楽堂	6–8	オペラ
他	6–	▶ダンスパーティー　音115室

1日

会場	時間	内容
奏楽堂	11	コーラス
奏楽堂	12–1	作品発表　オペラ
奏楽堂	2–4	学響コンサート
奏楽堂	5–8	演劇
他	pm1–	▶講習会音118室
他	pm1–	▶スライド　美術学部講堂
他	pm1–	▶フォークダンス美術学部食堂前
他	4–	▶人形劇　第　講議室
他	4–	▶映画　音48室
他	6–	▶ダンスパーティー　美術学部講堂
他	6–	▶ダンスパーティー　音115室

2日

会場	時間	内容
奏楽堂	am9–10	作品　オペラ
奏楽堂	11–2	邦楽演奏会
奏楽堂	2	コーラス
奏楽堂	3–5	ポップス　オーケストラ
奏楽堂	5–8	オペラ
他	12–	▶映画　音48室
他	pm1–	▶人形劇　第一講議室
他	pm1–	▶講習会　音118室
他	pm1–	▶講演　美術学部講堂
他	6–	▶ダンスパーティー　美術学部講堂
他	6–	▶ダンスパーティー　音115室

3日(日曜)

会場	時間	内容
奏楽堂	10–12	室内演奏会
奏楽堂	12–1	ポップスオーケストラ
奏楽堂	pm1–2	声楽コンサート
奏楽堂	2–5	学響コンサート
奏楽堂	6–8	演劇
他	am10–	▶スライド　美術学部第一講議室
他	pm1–	▶映画　美術学部講堂
他	pm1–	▶フォークダンス　美術学部食堂前
他	3–	▶講習会　音118室
他	6–	▶仮装ダンスパーティー　美術学部講堂
他	6–	▶ダンスパーティー　音115室

31 ▶ 3	美術各科展覧会・アンデパンダン展・模疑店・喫茶店・各種催物　美術学部　第7講議室

友社の標準版ピアノ楽譜

バイエルピアノ教則本	150
ツエルニー 100番	260
ツエルニー 30番	130
ツエルニー 40番	200
ツエルニー 50番	400
グラーマー・ビューロー（井口基成解説）	400
クレメンティ（井口基成解説）	430
ソナチネア・ルバム I	280
ソナチネ・アルバム II	320
ソナチネ・アルバム I・II	各360
バッハ インヴェンション	200
バッハ 平均率ピアノ曲集 I・II	各360
バッハ イギリス組曲	近刊
バッハ フランス組曲	250
バッハ イタリア協奏曲	130
モーツアルト ソナタ・アルバム I・II	各380
ベートーヴェン ソナタ・アルバム I・II・III	各500
シューベルト作品集（幻想曲・即興曲・楽興の時）	320
メンデルスゾーン 無言歌集	380
シューマン 子供の情景	80
ショパン・アルバム	350
ショパン ワルツ集	220
ショパン エチュード集	350
ショパン マズルカ集	350
ショパン ノクターン集	250
J・シュトラウス ワルツアルバム I	180
J シュトラウス ワルツアルバム II	200

東京 音楽の友社 神田

第四回の芸術祭をここに迎えるに当って。今年の芸術祭には、ああしたらよいだろう、またこんなふうにしてみよう、などと思っているうちに、もう芸術祭は来てしまいました。我々がこの一年間、よろこびや苦しみのうちに努力して来た成果を、ここに発表することは、非常に大きなよろこびであり、有意義であります。

芸術祭——我々の先輩が、これを望み、実現するために、どんなに苦労したことだろうか——我々は、これを忘れてはならないと思います。

我々は、この一年間何をなし、そして、どの位進歩したかを、静かにふり返り、先輩の方々の望んだ方向に、一年一年と積み重ね、もっと高いところまで達しなければならないと思います。

たたけばカーンと気持の良い音が聞えて来そうな、澄みきった空を眺めながら、今年の芸術祭も多大な成果をあげる事が出来る様、願っています。

「真実を語れ」とは、ベートーヴェンの言葉ですが、我々の作品が、或いは演奏が、真実そのものであってほしいと思います。

二宮正美

芸術祭にあたって

今年の芸術祭を行おうとしたとき、我々は昨年の芸術祭を運営した人々にその詳細を尋ねなくてはならなかった。しかし昨年の方法を忠実に今年に置き変えて行なったとしたら、これ程のナンセンスはないのであって、我々には未だ体験しない今年の芸術祭に対する新しい期待と希望とがあり、何かしたかったのである。

年間、我々は教室で実技に於いても講義に於いても、石膏室が示すようなギリシャ、ローマ又はルネッサンスの過去の遺産を複習し、そしてそれが示すオルソドックスな造形の方法を技術と共に体得すると云うシステムの中にある。これはアカデミーが根強く身につけた因習的なものであり、そのクラッシツクな美学は確かに我々を一度はひきつけたのである。

しかし今一度、我々自身この錯走し時代から免れ得ない当事者であると云う事実を知ったとき、我々に課せられた問題は、レツスンからは何ら解答を得ないらしいのだ。一体`過去の既に権威となった芸術の方法を貪ることから、新しい時代への道は拓けて来るもであろうか。

常々、平穏な安定した雰囲気にひよっとしたら、その腐蝕した概念の中に没しはしないかと云う危険を感じている我々が、年一度背伸びし、未来に対して冒険的に挑んでやろうと云う意欲をもって、音楽学部学友会と共同して計画したのが芸術祭である。どうかこつぴどく一つ一つの作品を批判していただきたいと思う。

田中拓雄

美術学部展覧会

● 彫刻科菊地教室作品展	第2会場1階……………………………1．2．4年教室
● 日本画科作品展	第2会場2階……………………………1．2年教室
● 油画科作品展	第２会場……………油科・日本画8．9教室
● 図案・工計・図計科作品展	第４会場……………………………1．2階
● 金工科作品展	第３会場……………………………２階
● 漆芸科作品展	第３会場……………………………１階
● 建築科作品展	第１会場……………………………1．2階
● 芸術学科作品展	第2会場1階……………………………第9．第6教室

1868
婦人子供洋装附属品なら…
ギンザ サヱグサ
東京・銀座・３～21　TEL　(56) 0011

音楽学部演奏会　於奏楽堂

学響コンサート

10月31日　10.00 a.m
11月1日　2.00 p.m
　　3日　2.30

1. 交響曲　第40番　ト短調　モーツアルト
2. ピアノ協奏曲　第2番　「流れ」　パルムグレン
3. ハリー　ヤノス　コダイ

指揮　武田善美
　　　山本直純
独奏　舘野　泉

室内楽

10月31日　0.30 p.m
11月3日　10.30 a.m

1. セロ協奏曲　ボッケリーニ

指揮　二石精一
独奏　馬場省一
オーケストラ学生有志

2. 弦楽四重奏曲　ハ長調　「不協和音」モーツアルト

Vn. Ⅰ　角道　徹　Vn. Ⅱ　落合孝男
Va　菅沼準二　Vc.　飛山宣雄

3. クラリネット五重奏曲　イ長調　モーツアルト

Cl.　津田軍二　Vn. Ⅰ　伊藤浩史
Vn. Ⅱ　町田映子　Va.　中塚良昭
Vc.　曲輪和子

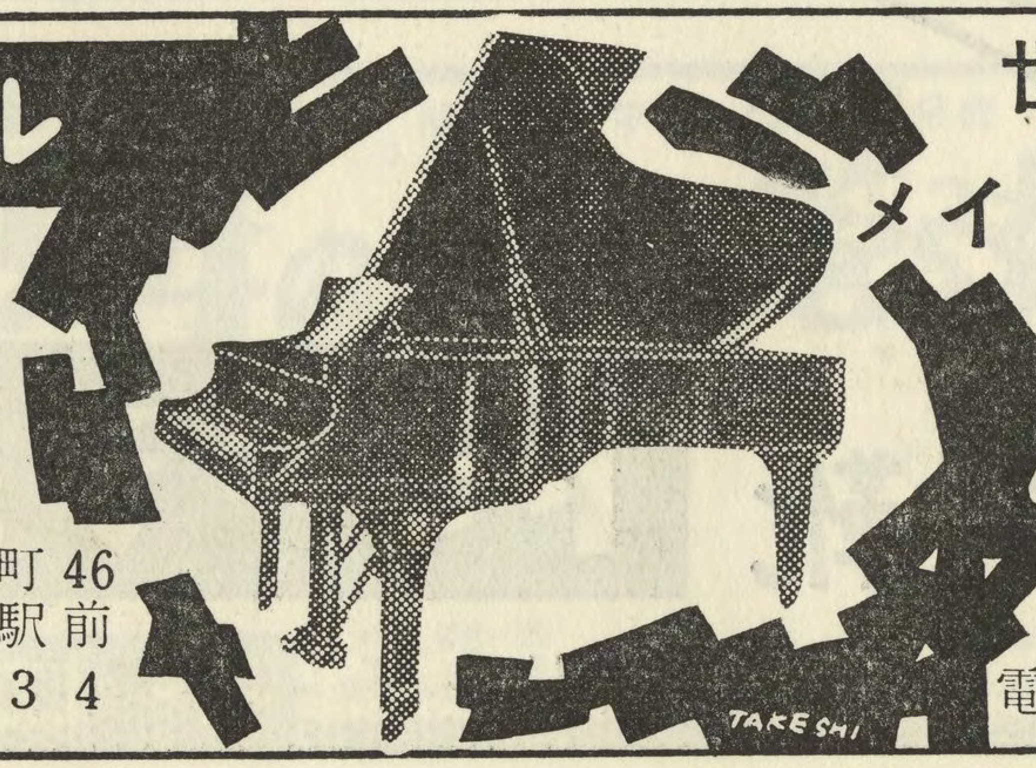
作品発表

10月31日　2.00 p.m

1　藤沢寿子　トランペットとピアノの為の「ル・ディアローグ」
Trp.　鴨井次郎　P.　藤沢寿子

2. 八村義夫　クラヴィールステュッケ
P.　矢野義明

3. 山内正治　弦楽四重奏曲

ホルーゲル
ピアノ
オルガン
大阪市南区畳屋町46
神奈川県湯ヶ原駅前
仙台市立町１３４


世界最高
メイソン・ハムリンピアノ
日本総代理店
小野ピアノ
銀座四丁目交叉点
電話 銀座 (57) 501・502・3501

4. 明本歌子　風の中の風の歌
保富康午の詩による三の歌
Solo. 山田　葵　P. 明本歌子

5. 鵜崎庚一　ヴァイオリンとピアノの為の
三つの楽章　Vn. 海野良夫

──休　憩（10分）──

6. 佐藤洋一　二台のピアノのためのソナタ
P. Ⅰ 長井　充　P. Ⅱ 生悦住弘

7. 嵐野英彦　二台のピアノのための嬉遊曲
P. Ⅰ 後藤恭子　P. Ⅱ 舘野　泉

8. 広瀬量平　ヴァイオリンとピアノの為の
五つの小品
Vn. 氏平富子　P. 富田寿子

9. 金子篤夫　五つの童謡
小さなお小舎、秋の野　M.Sop. 野崎幸子
月に開いた、雪女、子守唄　P. 久保田裕子

10. 山内　忠　ピアノためのオーバード
P. 山崎冬樹

11. 村井嗣児　コンチェルティーノ
ピアノ・トランペット・フルート
弦楽五重奏・打楽器　P. 井沢　利

・創作歌劇

「海に生きる人々」　原作 J.M. Synde.　作曲 猪本　隆

11月1日　0.00 p.m
2日　9.30 a.m

全一幕

──キャスト──		──スタッフ──	
ノーラ（S）	……原沢弘美	演出歌唱指導	……四谷文子
カスリン	…………桑田雅子	指　揮	……………猪本　隆
母モーリヤ	………永田綏子	美　術	……………葛上周次
バアトレイ	………洞谷吉夫	演　奏	……学生チェムバー
男女数人（トリオ）			オーケストラ（有志）

・歌劇

ヘンゼルとグレーテル

10月31日　5.30 p.m
11月2日　5.00 p.m

		・配役	
作　曲	フンパーテインク		
指　揮	遠藤雅吉	ヘンゼル	高山千鶴子
合唱指揮	中村順一	グレーテル	向井　元子
演　出	上田公子（俳優座）	父	柳原　徹男
美術照明	土屋瑞穂・長久雄	母	小島　瑛子
オーケストラ	学生有志	妖女	宮本紀美子
ピアノ	霧生トシ子	魔女	青山三保子
歌唱指導	秋元雅一郎	子供達	一二年有志
	伊藤　栄一	語り手	川口　耕平

邦　楽　演　奏　会

11月2日　11.00 a.m

観世流仕舞	女郎花		月岡　祥子	
	玉　葛		平沼　美子	
仕　舞	田　村		北浪　昭雄	
舞 囃 子	舟弁慶		竹中　宣子	
宝生流舞囃子	小袖曽我		長谷川フク	井上　和子
仕　舞	鶴　亀		榎本千鶴子	
	胡　蝶		堀　靖子	
	花　月		宝生　公恵	
	松　風		細野ヒロミ	
	岩　船		当山　興道	
箏　曲	奈良の四季	第一箏	土師　慶子	山崎千津子
			渡辺　玉子	高垣　幸子
			飯田かほる	
		第二箏	岡野　容子	田仲　孝子
			吉村　和子	増沢　雅子
	さらし	箏	小沢　貞	矢部　照子
			真鍋　恭子	
		三　絃	伊藤　松博	
	萩の露	箏	佐藤　茂生	
		三　絃	加納　理恵	沢井　忠夫
	赤壁賦	唄	真鍋　恭子	木原司都子
			対馬　愛子	矢部　照子
		箏	井口多樹子	小沢　貞
			小堀まさ子	
長　唄	娘道成寺	唄	市川　春子	本多　貞子
			町田いさ子	
		三味線	小屋敷アサ	森尻千鶴子
			吉井佳代子	横山　信子
		唄	松田　全代	福山　公子
		三味線	高橋　陽子	関　㲉
			中川　昇一	柿沢実津也

芸大ポップスオーケストラ

11月2日　2.30 p.m
11月3日　0.00 p.m

ジェラシー、アンダルシア、パリのお嬢さん、黒い瞳
ブルータンゴ、ジェルソミナ、80日間世界一周、他11曲
指揮　早川　正昭

声　楽　コ　ン　サ　ー　ト

11月3日　1.00 p.m

1. 三年声楽有志合唱
2. バリトン独唱
独唱　足立　勝（3年）　伴奏　河田瑞子（2年）
献呈　花かそも汝　胡桃の樹　他二曲
3. 一年楽理科コーラス（アカペラ）　指揮　須賀　靖和
4. 二年声楽有志合唱団
指揮　村上　綜　伴奏　安芸疆子
"ジプシーの歌"
5. 四年声楽有志合唱

エレガント調　軽く・はきよい
英国の靴　トミーシューズ
にほんばし　三越前（24）6533—5

第12回芸術祭参加作品　待望の日本版いよいよ発売！
青少年のための管弦楽入門
（ブリテン）
山田和男・指揮
フィルハーモニー管弦楽団
（解説）村田武雄
LP（LKE-2）
SP（AC-20100～3）
キングレコード
好評発売中！
★ピーターと狼
（プロコフィエフ）
山田和男・指揮
室内管弦楽団
（語り手）加藤道子
LP（LKE-1）EP（AEA-9. 10）

各種催物案内

演劇研究部公演

「出口なし」 五景 J・P・サルトル作 伊吹武彦訳

日時・11月1日午後5時
3日午後6時
場所・奏　楽　堂

・スタッフ

演出　笠木　茂(油3)　製作　直江博史(芸4)
舞台装置　半田浩也(油2)
照明　平川晋吾(金工1)

・キャスト

イネス　岡倉淳子(油3)
エステル　新谷順子(図2)
ガルカン　長塚安司(芸2)
ボーイ　直江啓示(芸2)

音楽　柳田育秀(作曲3)
衣裳　鳩貝澄子(彫石2)
舞台監督　的埜教介(建3)
大道具 小道具　舞台美術研究部

地獄とは他人のことだ——あくまでも、他者との対決において生きなければならない、人間の内面的苦悩を、象徴的な状況、地獄における三人の男女の葛藤を通じて描いたものである。

人形劇サークル第三回公演

「人　形　寄　席」 日時・11月1日 午後 4時
2日 午後 1時
場所・美術学部第1講義室

芸大アンデパンダン展

日時・10月31日—11月3日
場所・美術学部第7講義室

版画と陶器の展覧会

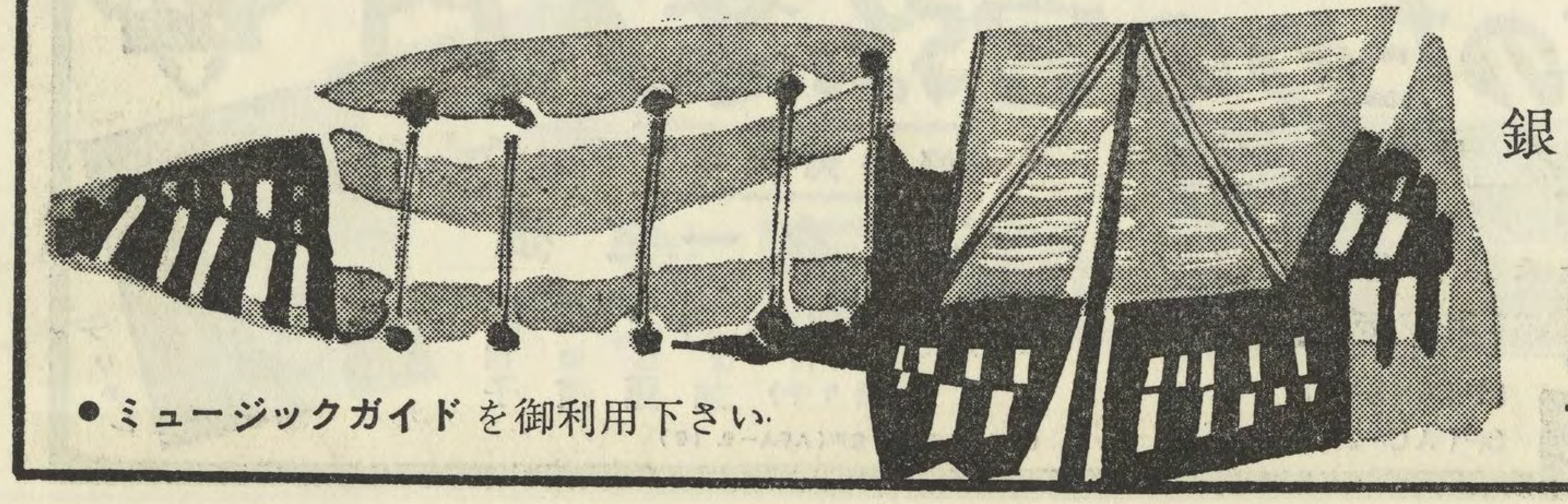
日時・31日～3日
場所・美術学部第2・3教室

芸大コーラス発表会

10月31日午後4時30分　11月2日午後2時
11月1日午前10時30分　於　奏　楽　堂

おゝ聖なる、アヴェマリア、エデンの東
眠りの精、ホワイトクリスマス

このコーラスは美術学部の学生で編成されています。
指揮　声楽3年　金　谷　良　三

内外管絃楽器と楽譜なら、何んでも揃います

銀座4丁目の
山野楽器店
TEL (56) 4715 4735
●ミュージックガイドを御利用下さい

「映画とスライドの会」

テアトル・ムジカ

日時　1日　午後4時
2日　午後0時
場所　音楽学部48室

洋の東西を問わず、色々な国の映画と音楽。お好きな方も嫌いな方も、さあどうぞ。　(楽理科3年主催)

映　　画

日時　3日　午後　1時
場所　美術学部　講堂

スライド

日時　1日　午後　1時
場所　美術学部　講堂

日時　3日　午前　10時
場所　美術学部第一講義室

「芸術と人間」

近代以降の芸術と人間。空想の世界更にルリーの空想「中世の暗黒の中の芸術と輝やき」(芸術学科主催)

講演と講習

日時　2日午後2時
場所　美術学部講堂

題目　「日本文化の民族性と国際性」
講師　黛　敏郎　安部公房　末松正樹
東野芳明　加藤周一　芸術学科主催

グレゴリアン講習会

日時　1日午後1時
2日午後1時
(講演会)　3日午後3時
講師　アヌイ神父芸大カトリツク研究会

ダンスパーティー

・10月31日より11月3日まで毎日午後5時より8時まで
音楽学部115室（音楽学部ダンス研究会）
・美術学部講堂　1・2・3日午後5時

少しはイセイのカタガタとシタシクなりたいとほんの出来心なぞ動きましたらぜひお立ち寄り下さい。きっと御満足次の日も出来心なぞ起されます。

注　3日は仮装パーティーです。御参加下さい

喫茶・模擬店

・図案科の喫茶店「DON」
・金工科の喫茶室「ハイ・ソサイヤテイ」
・庭球部甘党喫茶所芸大名物「ぜんざい」
・金工・漆科の即売所
・芸術学科喫茶室
・音楽学部　寿司屋
VIVO
志るこ屋

浜松楽器工業株式会社
東京営業所　港区芝田村町5
TEL (43) 1269
ディアパソン　ピアノ　オルガン

あの科この科

美術学部

●彫刻科石井教室

ソゾロ寒キ秋ノ夕暮レ、ミスボラシゲナル人、一人。コノ人去リタル跡ニ唯一言「吾、石井教室ヲ愛ス」ト。高マイナル精神ニ育テラレツツ、我ラハ、日夜過シオリヌ。吾ラガ教室、総員42名、香リ高キ紅花六ツ。六ツノ教室ニ励ム彫刻ヘノ情熱ハ、今ヤ内カラホトバシリ出デ新ラシキウゴメキトナリヌ。将来ヘノ夢ハ天ヲツクガ胎ナリ。故郷ナリ。アー、吾モ人ノ子。石井教室ノ子。

●彫刻科菊地教室

彫刻科の教室が２つ有るのは不思議なこと。今だにギルド制度の残ガイがあるという事に流されてこの様なシステム＝何々会・何々会になりがちだ。理由は彫刻が現代に生きるに価いしなくなったから、希望と絶望とが入りまじった彫刻家という妙なピエロがむらがっている。リアルだね。我々の前身は岩をくだいて記録した。我々もそこに戻してから話しかける個々の言葉で。

●油絵科

１学年40名。入学より卒業まで石膏と裸婦を描く科。年中変りばえなく同じ事をやっているので、どの学年の教室に入ってみても区別はない。教授は週二回顔をだし二、三忠告を与えるが余りつきあわない。他の科に比べて制作に特殊な技術を要しないから時間を要しない。それ故我々はよく論ずるが余り論理的でない。全て実感で語る。我々は卒業しても用途がない。しかしけちに使い道のある奴は互に軽蔑する。

●日本画科

古式豊かな舞扇の下に、優雅なかぎりをつくした奈良平安の民は、われわれに、大和絵の深い伝統を歴史の一綴とともに、のこしてくれた。我々は、発展、展開このくり返しの中に、又、新に新大和絵、いい変れば未来えの日本画を創造しようとしているのだ。我々日本画の80数名の学生も、必死に新しい造型に努力している。

●図案科・図案計画科

め、はな、形はともかく、五感、どうやら当世向きに出来たのですが、はたらきすぎる。第六感をセーヴするのに、面の皮の厚いのが、いっそ重宝しています。電車にのっても、食堂でも、悠々清談の風情なぞ、亦、格別の味もございます。リキんでも、コブ一つ出ぬこの腕でくうねるところ、すむところ、合理的に美しくとか、殊勝な事を言ったばかりに、あれも覚えにゃこれもしなけりゃ、いっそ忙しく勉強の毎日でございます。

●工芸計画科

インダストリアル・デザインを専攻する工芸計画科は私達十五人だけとなって今年度でオシマイ。たった七年の短い頁を閉じます。ふり返ってみるとこの間に日本の工業デザイン界が大きく変って来ています。私達の科もその変動期の一つのアブクでありましょう。

でも後には、図案計画科ＩＤコースの面々がひかえています。日本のインダストリアル・デザインの前途は洋々、我々の行手に幸あれ／ブラボー。

●芸術学科

殊さらに科にとらわれる必要は無いと云う考えが、この科に属する学生の態度かどうかは誠に疑わしい。ソレが大問題だ。しかし…… ……… …… ………（Y）

芸術学──曰くレオデッセウスの苦しみです。（Z）

●漆芸科

現在、長い伝統を持つ漆の美しさが忘れられているのは非常に悲しいことです。この中で我々は、課題の他、自由制作にデザインに塗装にと広く学んでいます。制作中ジレンマに落ち入り、色々の苦悩を味あわなければなりません。我々は工芸の立場や工芸と人間性等について真剣に取り組んでいるのです。こうして皆様に少しでも工芸の在り方、漆の美しさを理解していただくために、我々は漆にかぶれつゝ制作に励んでいます。

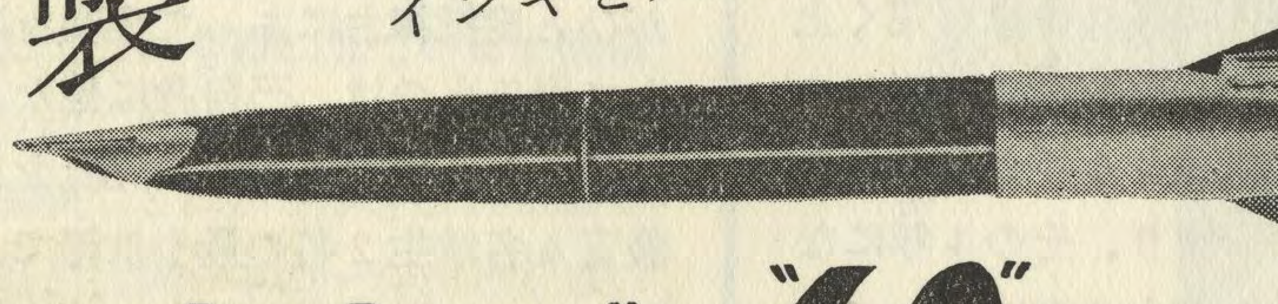
●金工科

動物園の馬舎のすぐ後にそびえる近代的建築、あれが新着動物か、などと早合点するなかれ、これぞ芸大一の設備を誇る我が金工科校舎である。金属工芸といってもその分野は広く、科の中は専攻別に鋳金、彫金、鍛金とに別れてはいるが、それぞれ密接な関係を持ち、私達の生活と縁の深い金属を中心として一品制作から日用雑貨、工業デザイン等個々の進むべき道に精進している。先ずは展覧会を御一覧下され。

●建築科

内容─20世紀的頭脳と感覚を持ち、体のいとすぐれたる人の多きとこ（花の２つ咲きたる)。程度─とかくうるさい、鼻たれ小僧から大学のセンセイでも解らないことを云う（Y談にあらず)。なべて好きなこと─赤、黄、青なぞ身につけること。ワカラナイ写真。「挽歌」。自動車など力を入れず動くもの。女の子を横目でみること（紅２点は逆)。いとうもの─一期日のせまった製図。構造力学。絵のない外国雑誌。チビタ鉛筆。禁煙。

世界のピアニストの讃える……
山葉ピアノ
YAMAHA
創立70周年 日本楽器
銀座７丁目 TEL (57) 5691

新製 インキを入れなくてもよい

インキタンクが取かえられる
プラチナオネスト"60"
¥3000.-

音楽学部

●器楽科（ピアノ・オルガン）

一学年平均20人の割合で、ピアニストの卵がいる。皆勤勉で、清潔な知性、円満な良識、温和な心を兼ね具えた、将来有望な若人達と云いきっても、誰も笑わないはずである。ピアノ科の性格は、全てが中庸を得ている事で、若しその中で突飛な事をやったり、噂の種になる様な事をする者がいたら、それは天才か狂人だと思い給え

●器　楽　科　（絃）

絃の連中はおおむね皆詩人である。深刻である。情が細やかであり、聊か神経過敏の気味もあるのは表情豊かで微妙な旋律楽器を扱う関係上致し方ないだろう。一言悪口「甘すぎる和菓子みたいな感傷詩人。」時には大ラッパを吹くとよい。以上ピアノ専攻生の弁。許し給え。

●器楽科（管・打楽器）

管打の連中はまとまっていると云うのが一般の見方の様だ。総勢70余人。全部が親愛なる友と云う訳でもないが、いざと云う時には皆が最大の力を出す。ヤマトロ教官の鼻しばし高しである。最近この科では囲碁が大流行で、新館の四階が我々の練習室に当てられると、ここは管の連中の集会所的色彩を示し、何時行って見ても盤に向い合った人達を見かける。その上達振りたるや素晴らしきものがあり、この調子で専門も…とフト思わざるを得ない。話は飛ぶが一人一部屋の練習室なんて時代が明日にも来ないものかと思う。・・

●声　楽　科

毎年本学随一の競争率を突破して60人前後の声楽家の卵が入学します。従って1年生時代は誠に鼻息も荒く上級生の歌を聞く事があると、それこそ糞味噌に酷評しますが、2年3年となるにつれて“矢張り4年ともなると一応は歌うじゃないか”と云う事になり、その4年になると閻魔様の前に引き出された善男善女の様になって慌しく四年間を終る訳ですが、大半の卒業生が“もう一度入学し直したい”と述懐する実情は中々考えさせられる物があります。

●作　曲　科

今に日本中には作曲家があふれるだろう。今在学する作曲科学生60余名——各学年15名見当になる。皆が皆作曲家になる——又はなった心算だが、世の人々は年々増える作曲家を養う心算だろうな。平均年令が伸びた以上作曲家も長命になるから、まして我々長命族をむかえ入れる日本の社会よ、その使命をよく果すや否や——と云う心配をしない様な作曲科学生に会う事はないだろう。

●邦　楽　科

「芸大に邦楽科があったの」と云う人を見かけるが、一体日本位自分の国の音楽をしめ出している国が他にあろうか？小中学校の教科は外国の歌の連続だし、先生は自信を持って教えるだけの理解がないのが現状の様だ。現在先生約20人、生徒60人、皆懸命にやっている。ピアノは大学に入ってから始める人も珍らしくない。狭い教室だがパンプスの踵で拍子を取り乍ら撥を握るのも楽しい風景である。

●楽　理　科

楽理科が一般に理解されていない、と毎年ここに書かれるが、残念ながら未だにそうらしい。それも、あまりに内容が豊富だからで、東西両音楽史、理論、美学、ここから哲学、宗教に至り、これに種々の実技が加わる。それ故、およそ音楽を学ぶに、これほど素晴しい科はないと思っている。それだけに、四年と云う年月は長いようで短く、六年迄残りたいと云う者も少くない。他の科に比べ、クラス授業が多いので、団結力が強くまさに日本の音楽学を背負う100の卵の巣がある。

●指　揮　科

指揮者は広汎にわたる音楽的訓練と素質を要求されるがひと度指揮台にあって全員を率いる時、そこに躍如として出るものは、己自身に他ならず、指揮棒とスコアの一歩うしろで常に人間の完成を目指さねばならぬ。現在教官4名学生2名の最小世帯で、他科と違い親愛の度も深いが、転科試験の際には一人の学生に17人の諸先生が動員され、各科別の遠足の日は佗しく路頭に迷う始末。兎角立派な指揮者の育つ科であってほしい。

仮装カーニバル

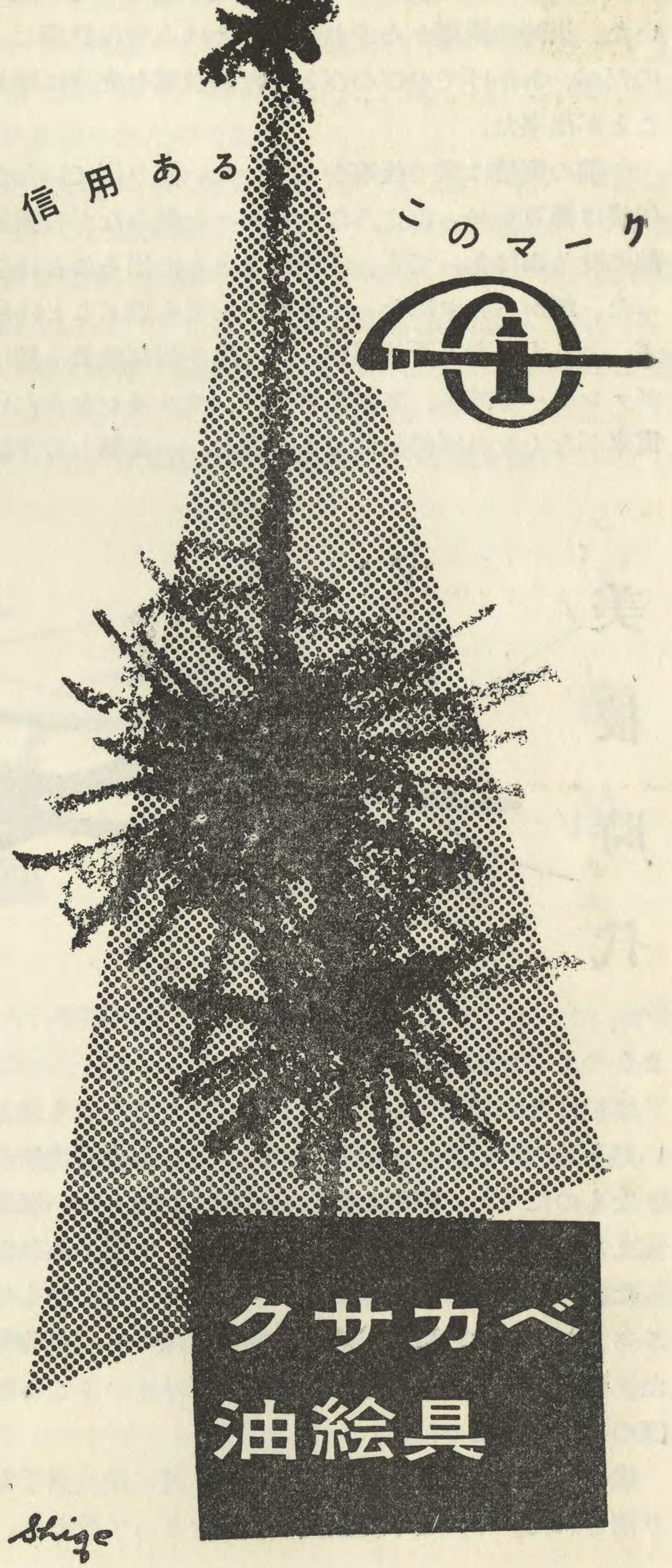
仮装という人間の集団行為は、随分と時代をさかのぼった時から行なわれていたように思われます。仮装が、どこで、どうして始められたか、又どのような歴史を持っているかなどよくは知りませんが、映画などでよく見かける仮装舞踏会の様なものが、世の中に流行し始めた頃から自分を——いわゆる仮装することによって、他に対して自分でない自分を楽しむことが仮装というものではないかと思います。今までの自分を忘れさせることの楽しみ、限度はありますが、人間的、社会的な秩序の束縛を離れた自由を楽しむこと——ヨーロッパの国では、国を上げてこのような仮装の一日を楽しむ所があります。

我が国では ,国を上げてまでとはいきませんが、私達の周囲ではよく見かけますので仮装の嫌いな国民ではないことは確かな様です。特に、私達の芸大では、仮装においては燦然たる伝統？　を持っていると確信しておりますそれは芸大の前身である東京美術学校時代からのものであり、その鼻祖は岡本一平とか聞いております。

日夜、己の情熱と、力一杯の努力とを持って、苦しいそして厳しい芸術への精進に励む芸大生にとって、伝統ある仮装行列は数々の楽しい思い出を作ってくれています。昨日までは、ニガミ走った顔をしていた人も、額に深々と苦悩のシワを寄せていた人も、仮装行列の日だけは芸術を忘れて、(本当は決して芸術の事を忘れているのではありませんが）子供の様な表情で参加しているのです。

又、仮装行列に使用する道具、芸大生自身の仮装は、これこそ、日夜精進の斐？あってか、実に独創性に溢れる天才的な閃きを発揮して゛あちこちで催されています仮装行列を断然引き離した楽しいものにしていると確信しておりますが、行列、行進においても、これまた天才的行進によつて、上野公園狭しとばかり歩きまわる様ですが、これも芸大の誇り高き伝統の中の一つかとも思います。

仮装カーニバル運営委員長



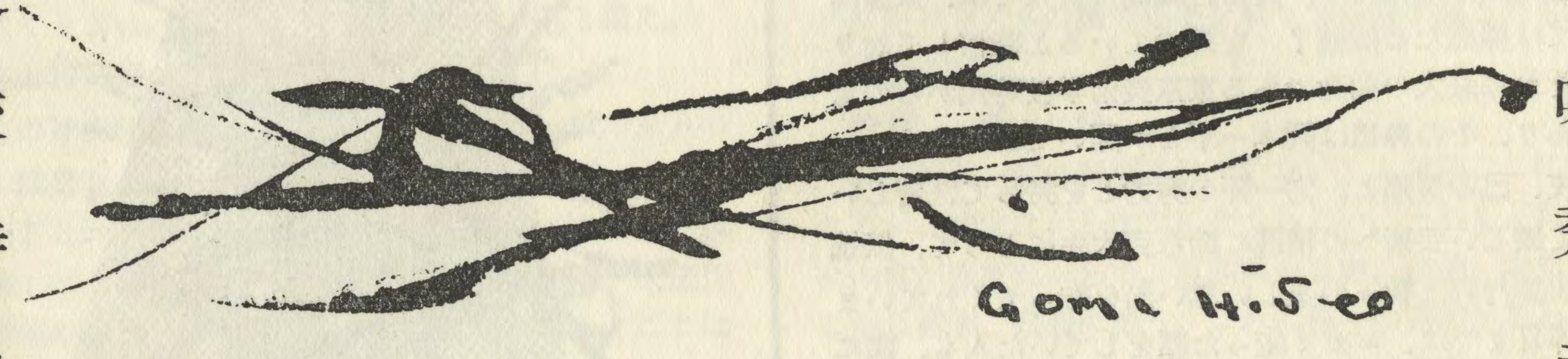
美校時代

五味秀夫

塀の外には星と錨のマークが次第に不気味な力を誇示しているのに、美校の中は芸術至上主義の空気が漂っていた。当時の風潮からすればおよそはみでた状態だったのだが、おかげでのびのびとした解放感を充分に味わうことが出来た。

午前の実技は家で仕事をしていない限り出ていたが、午後は黒豆を炒ったようなコーヒーを飲みながら議論雑談に耽る事はあっても、学科にまともに出ることは少かった。朝からむきになって仕事をしても遊ぶことは忘れず、よくも財布と身体が続いたと思う程毎晩飲み続け、ヴァレリーを読み、アポリネール、サルモンをうたい、電車がなくなれば何処にでも沈没し、一文無しで学校に辿り着いては食堂でうまくもない朝飯に舌づつみを打つこともしばしばだった。戦時中で洋書が手に入らず古本屋を歩いてカイエダールのピカソ特集にとびつき、スーラのデッサンに感動してはなけなしの金をはたき、一枚の欲しい画が附いている理由で雑誌を買い漁ったのも此の頃である。

然し卒業と同時に来る陰惨な軍隊生活と、其れに続く死を思うと、未来を絶たれたやりきれない焦燥感にかられていた。それ迄に一枚でよいから満足出来る作品を造りたいと思う心と短い三四年の間に生きているあらゆる実証をつかみたいと希う気持の生活だった。友達と過す一日一日が楽しくてもその裏には頼りない空しさが附きまとつていた。



学校はなにをしても自由だが、又此の位なにも教えない処も珍らしい。こと油画科に関しては自由研究所のようなものだった。裸婦の習作の連続に物足りない疑問を覚えながら、抽象絵画は感覚的にだけしか受け入れなかった。絵に対する確信がつかめず、心の中のもやもやがふっきれたのは、戦争が終って学校へ帰って来た時だった。信用出来るのは自分の心と肉体だけといふことを軍隊の中で学んだのだ。

戦争が次第に烈しくなるにつれて、遂に徴兵猶予も取り消された。やがて学徒動員。「銃をとって死ぬな。必ず生きて帰ってこい。諸君の国に対するつとめは芸術の世界のみ」と言う軍人を前にしての老齢の六角教授の全学生に対する言葉をかみしめながら山を下っていった。

入営の直前、僕等で最後だった学校の関西旅行に奈良へ集合した、秋の終りの大和奈良の古寺を遍歴して、仏像の此の世ならぬ永遠の美しさを見つめた。しびれる様な感動に襲れながら、かならず生きて帰らうと思った。その旅行の間にも毎日三人、四人と兵士となる為故郷へ帰っていったが、その中の何人かは永久に復学してこなかった。

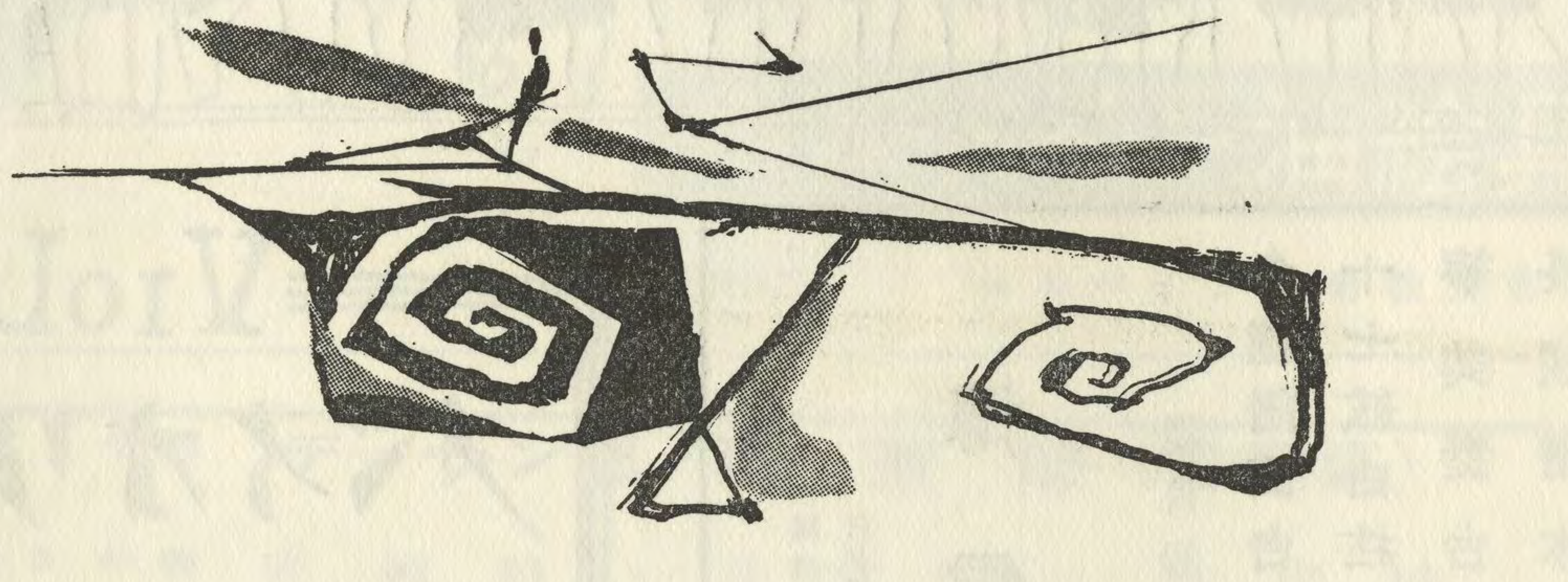
思い出のひとはし

下総皖一

なるべく古いことを思い出して書け、といわれるほどの年輩になったわけだが、何かの集りで、同声会の先輩にお目にかかることがあると、私などまだほんの青二才のような感じがする。でも学生から見れば大先輩にもなるわけで、学校の教官の中でも古い方から三四番ということになると、今の学生たちの知らないことも多少は知っていることになるのである。

五つの金ぼたんのつめ襟服で、丸帽の学帽をかぶって登校するのは、初年級位のもので、大低は黒のソフト帽をかぶり、（そのソフト帽も中折にしないで、一旦丸くつぶしたのを又内側から頭の格好に押しだしたような形にしたもの）夏になると、麦ワラのカンカン帽をかぶったものである。きちんと角帽をかぶった他の大学生にくらべると大分姿の変ったものである。女の生徒は、洋装というのは極めて稀で、大低は長い袖の和服に、紫かえび茶の長い袴で、足は草履という姿。これで公園をしとやかに歩かれたのである。

男女七才にして席を同じうせず、という教えの時代であるから、男女間の交際というものは絶対禁止で、学校の練習室も、玄関に向って左側が女、右側が男。奏楽堂の席も、ステージに向って左が女、右が男となっていた。万一男女生徒で用談をしなければならない時には、生徒監の許可を受くべし、という厳格なものであった。それもその筈、日本国中男女共学は、小学校を除いては、わが音楽学校が唯一つであったから、世間の人も始終注意をしていたわけであって、それだけに学校でも、とても神経を尖がらしていたわけである。私は、卒業式がすんで、新潟県へ奉職すべし、という文部省辞令を貰ったところが、それをきいたある一人の女生徒（卒業生）が、あなた新潟県ですってね、私もよ、いっしょに赴任しましょうよ、といきなり話しかけて来たのには大いに面喰ったことである。一体女の人と話をしてもいいのかしら、と一瞬ためらったけれど、考えて見れば、もう卒業証書も貰ってしまった時であるから、学校の規則には従わなくてもいいんだ、と思いかえして、勇気を鼓して私も大いに談じたものである。



古い卒業生が学校をたずねて来て、きたない古い校舎を眺めながら、これも思い出、あれも思い出、なつかしいわ、門がなくなったのね、奏楽堂はいつまでもとって置きたいわ、などというのを聞くと、毎日居るとそんなにも思わないのに、なるほど、しわくちゃになった故郷の老母をなつかしむようなものだという感じにもなる。

オーケストラのメンバーの管楽器奏者が全部海軍軍楽隊員であった時代であるが、それに比べると、いくら近所の人からうるさいといわれても、新館の建物から流れ出るトランペットの練習の音など勇ましい心強い限りである。

御案内

- お呼出しは、音楽学部、美術学部教務課まで。
- お忘れ物は、芸術祭本部（音楽学部）まで。
- 休憩室を御利用下さい。

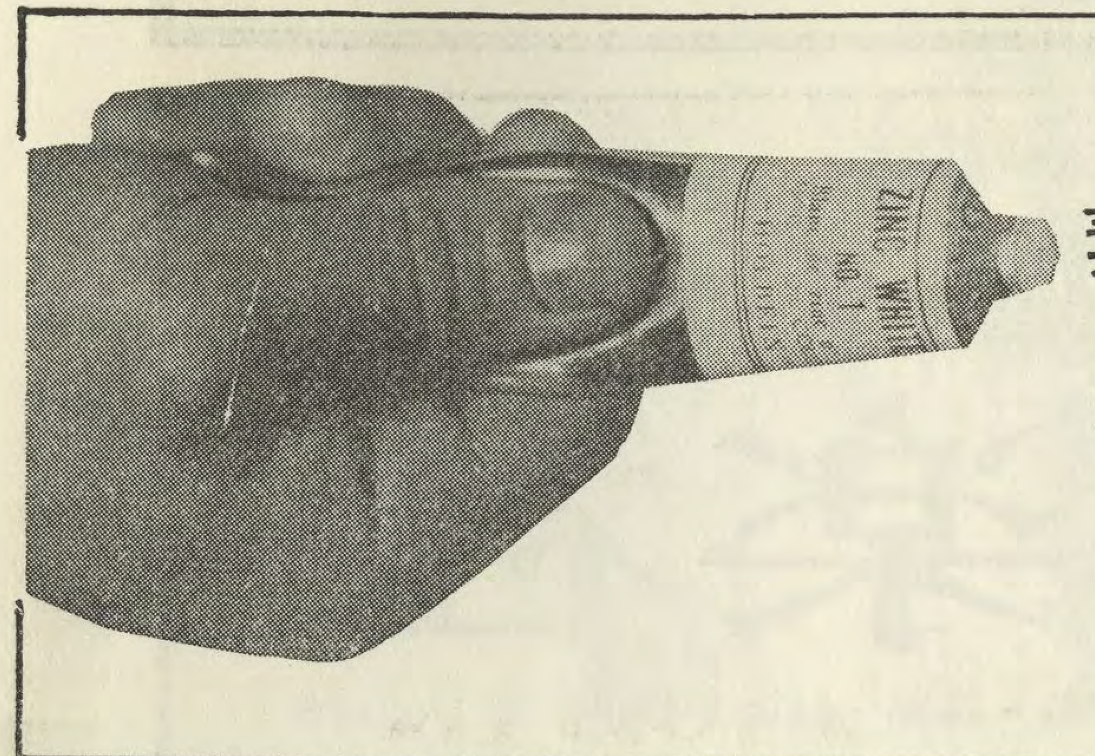
文房堂の専門家用油絵具と
有名画材店に有り・
ポスター カラー

各種譜面台
十七絃白柱
箏美奏台
長唄譜本
宮城先生譜本
箏のかがみ
呈目録
博信堂
電話(24)五五一五
日本橋室町一ノ十六

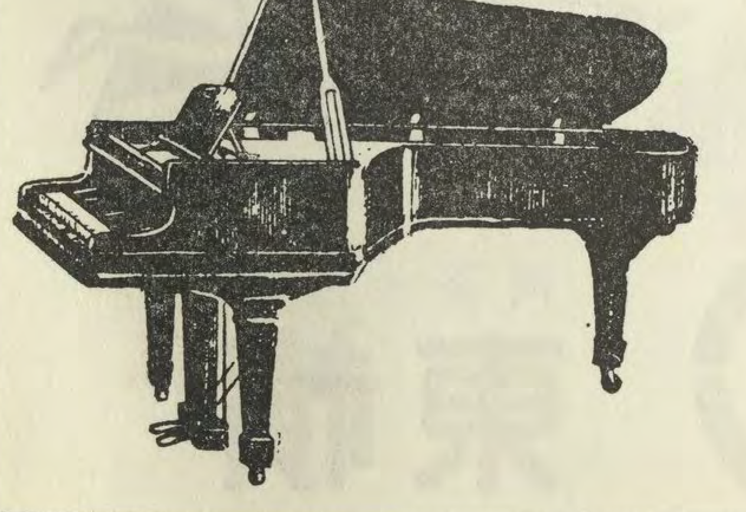
VIOLIN
バイオリンの店
鈴木バイオリン
梅沢楽器店
芝・田村町2の19 電話芝(43)6439

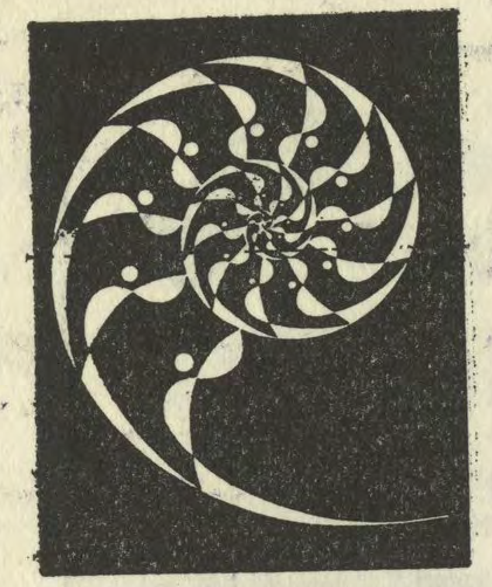
美しいお洒落
FOR LADIES' FINERY
ギンザ
三愛

あのひと とっても チョコテキ...
●ステキっていうのと ちょっとちがった‥ 高級チョコレートみたいな持ち味●キメがこまかく、なめらかな感じ●香りの高い、ちょっぴりほろにがいあまさがあるの
明治ミルクチョコレート
20円・50円・100円


素晴らしい！
好評です！
ホルベイン油絵具
holbein ホルベイン工業株式会社

DK
実技指導 毎日 午前 午後 夜間
デッサン部・図案部（含建築）
普通科・受験科・研究科
（規則書〒20円）
学校法人
服部学園
御茶の水美術学院
東京都千代田区神田駿河台2の3 TEL(29) 0820


ヤマハ・シュヴェスター・ベルトン・外優秀舶来品各種
技術と信用を誇る調律師の店
東和ピアノ商会
渋谷区上通1～4 (40) 1807 青山六丁目電停前



リビングデザイン
季刊1号　10月20日発売

特集「デザイン10年の歩み」

B5判　総 160頁　表紙
原色版　グラビヤ 116頁
本文40頁　420円　送35

美術出版社　牛込局区内市谷本村町15
振替・東京一六六七〇〇

(一) デザインの展開　1 ー合理化をめざして（亀倉雄策・前川国男各作家の作品）　2 日本美の再発見（丹下健三・柳宗理　河野鷹思各作家の作品）　3 ー大衆と共に（渡辺力・原弘・大橋正各作家の作品）　4 ー商業性の発展（村野藤吾・伊藤憲治の作品）
(二)デザインの状況1ー国際交流（吉村順三　堀口捨己の作品及各種展覧会）　2 ー綜合への動き（野口イサム　剣持勇・岡本太郎各作家の作品）　3　人類の願い（丹下健三　野口イサム・亀倉雄策の作品から）
(三)デザインの位置（滝口修造・勝見勝・浜口隆一各評論家の力作）
(四)デザインの年表（1945・8〜1957・10の記録）

箏譜・三弦譜
・各種唄本
（出版総目録送呈）

東京都港区芝西久保桜川 1

株式会社 邦楽社

TEL (43) 1781・2686・4496　振替　東京12875

ヤマハピアノ東京特約店

ピアノは ヤマハ

お店は イナバ

いつもゆき届いた アフターサービス

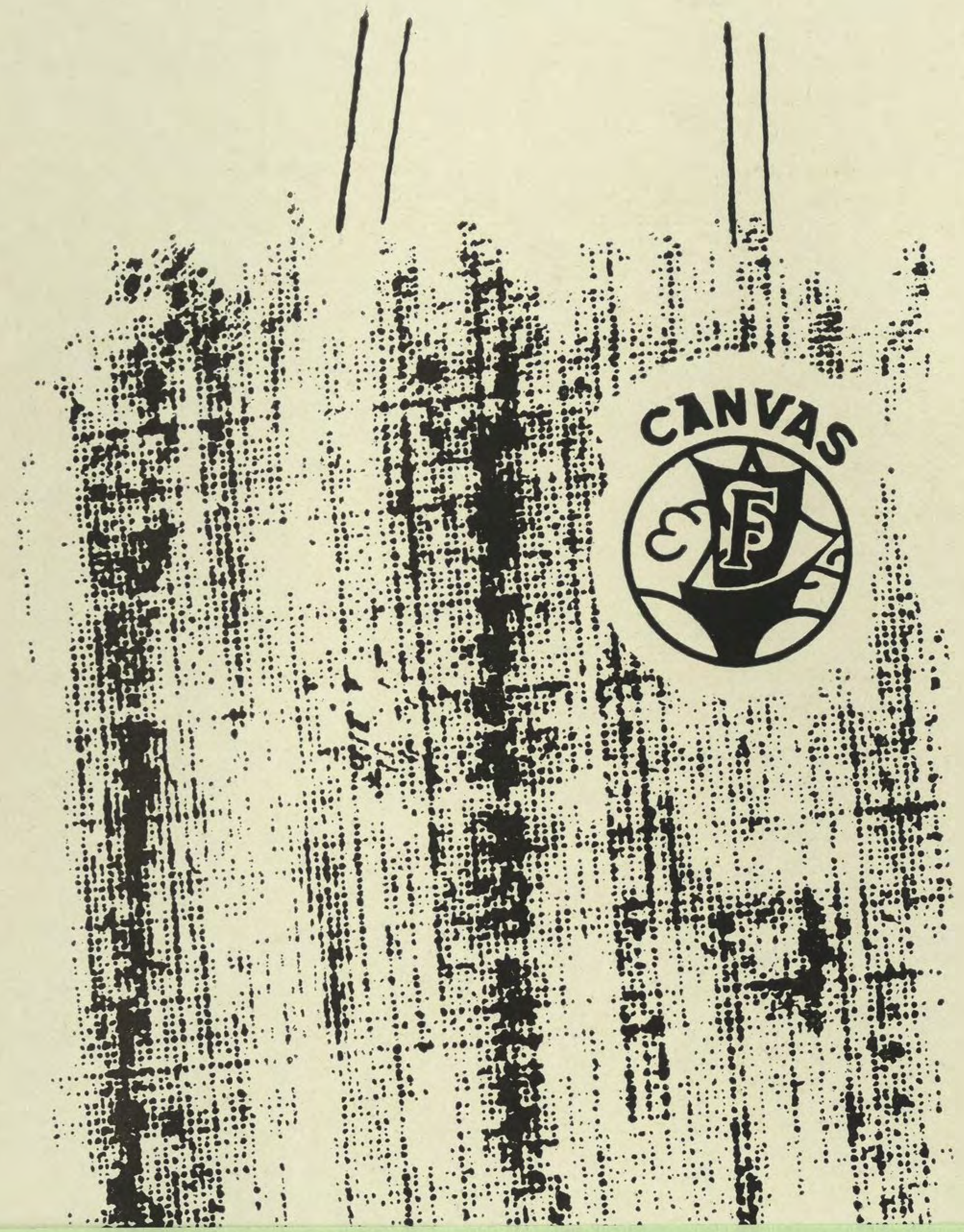
渋谷　稲葉ピアノ株式会社　TEL. (40) 1788 6035

お買物は……

みなさまの百貨店

日本橋 白木屋

渋谷・池袋 東横



船岡の●キャ

東京藝術大學 和漢書 第 號 冊ノ 圖書館之圖書

377.9
To 46
4

ホップのきいた本場の味

サッポロビール

BORN 1876

（姉妹品）リボンシトロン・リボンジュース
東京・日本麦酒株式会社・銀座

リビングデザイン
季刊１号　10月20日発売

特集「デザイン10年の歩み」

Ｂ５判　総 160頁　表紙
原色版　グラビヤ 116頁
本文40頁　420円　送35

美術出版社
牛込局区内市谷本村町15
振替・東京一六六七〇〇

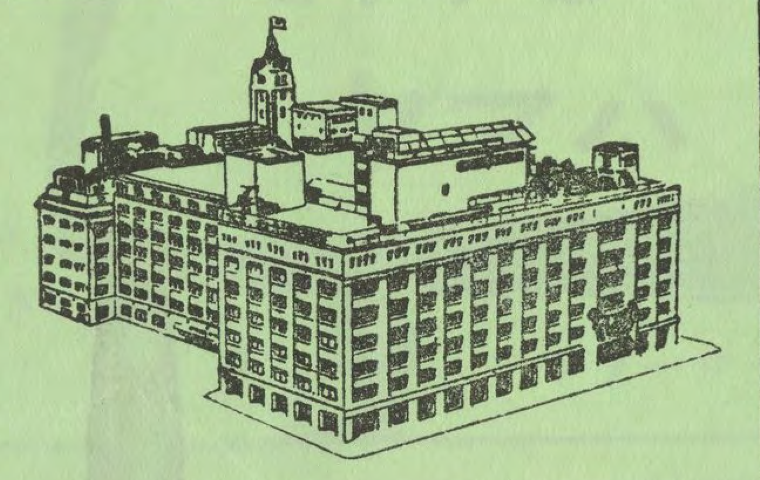
(一) デザインの展開　1 —合理化をめざして（亀倉雄策・前川国男各作家の作品）　2 —日本美の再発見（丹下健三・柳宗理　河野鷹思各作家の作品）　3 —大衆と共に（渡辺力・原弘・大橋正各作家の作品）　4 —商業性の発展（村野藤吾・伊藤憲治の作品）
(二)デザインの状況1—国際交流（吉村順三・堀口捨己の作品及各種展覧会）　2 —綜合への動き（野口イサム　剣持勇・岡本太郎各作家の作品）　3　人類の願い（丹下健三・野口イサム・亀倉雄策の作品から）
(三)デザインの位置（滝口修造・勝見勝・浜口隆一各評論家の力作）
(四)デザインの年表（1945・8～1957・10の記録）

箏譜・三弦譜
・各種唄本
（出版総目録送呈）

東京都港区芝西久保桜川１

株式会社　邦楽社

ＴＥＬ（43）1781・2686・4496　振替　東京12875



受けて重宝　三越の商品券

日本橋本店
新宿支店
銀座支店

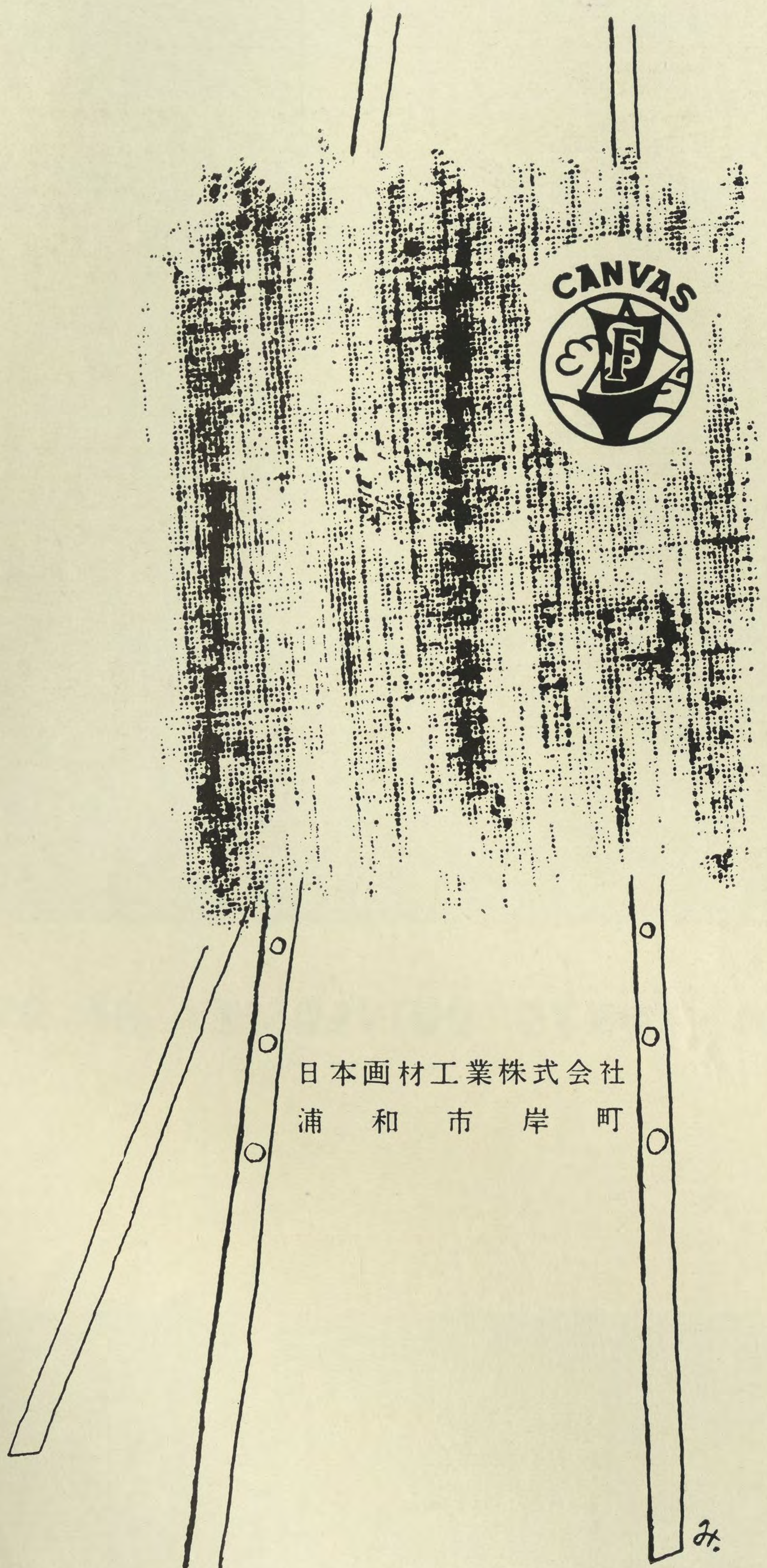
三越

仮装ポスター　高杉　治朗
芸術祭ポスター　西沢　健
表　紙　佐藤　哲
編集構成　姫野　紀一
発行　東京芸術大学芸術祭運営委員会
1957年10月20日印刷　11月1日発行
印刷　富士美術印刷株式会社
（非売品）

図案科喫茶室
TEA ROOM　どん
図案会場中央

東京藝術大學
和漢書
第　　號
冊ノ
圖書館之圖書

377.9
To 46
4



船岡の

● キャンバス

日本画材工業株式会社
浦和市岸町

1957 GEIJUTSUSAI · TOKYO UNIVERSITY OF ARTS

東京　富士美術印刷